

リチウムイオン蓄電池に関係する火災が全国で発生しています

リチウムイオン蓄電池は身の回りの製品に広く普及しています。ニッカド電池など従来の電池と比べて高容量、高出力で軽量といったメリットがありますが、火災の発生危険というデメリットもあります。

衝撃、折り曲げ、刺突などの外力によって損傷し、火花が発生します。リチウムイオン蓄電池内はリチウムイオン電解液で満たされていますが、この液体は灯油や軽油と同じ危険物に該当するため、激しい炎を生じる場合があります。

全国で発生した火災事例

- ・専用(対応型)充電器を使用しなかったため、過充電となり出火した。
- ・社告・リコール品を使用していて出火した。
- ・経年使用による劣化で出火した。
- ・炎天下の車内に放置して出火した。(ドライブレコーダーに使用されている製品もあります)
- ・電池、制御装置等、製品の不具合により出火した。
- ・燃えるごみとして出し、ごみ収集車内で出火した。
- ・不燃ごみとして出し、積み重なったごみの重さで損傷して出火した。
- ・ごみ処理場内で出火し、長期間ごみの処理が出来なくなった。

火災を起こさないために

- ・製品の取扱説明書を熟読してください。(屋外用と書かれていても、雨などに弱い場合があります)
- ・変形、異常発熱、充電不良等、異常がみられる製品は使用しない。
- ・リチウムイオン蓄電池は高温にも低温にも弱いため、保管場所の温度変化に注意しましょう。
- ・製品は純正品を使用しましょう。(純正品でも発火の可能性はあります)
- ・リコール情報を確認してください。
- ・廃棄の際は各自治体の廃棄方法に沿って廃棄してください。

火災が起こってしまったら

- ・火花や火炎が収まってから消火器や大量の水で消火を行きましょう。
- ・消すことが難しい場合は直ちに119番通報をしてください。

リチウムイオン蓄電池が使用されているか確認する方法

▶ 小型充電式蓄電池マーク



Ni-Cd

ニカド電池マーク



Ni-MH

ニッケル水素電池マーク

このマークが製品に貼られています



Li-ion

リチウムイオン電池マーク



Pb

小形密閉形鉛蓄電池マーク